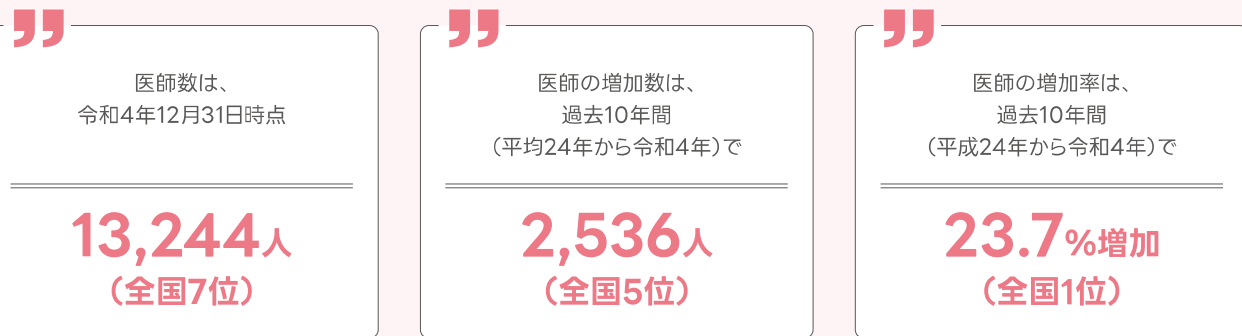


医師の現状

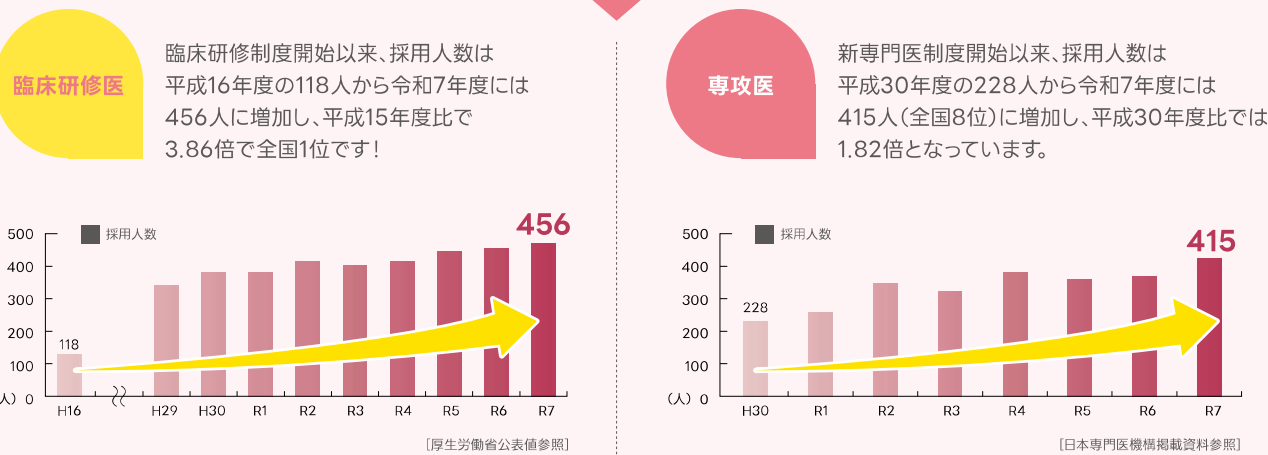
埼玉県では、埼玉県医師会、県内医療機関、大学などと協力して、平成25年に「埼玉県総合医局機構」（次項目参照）を創設し、医師の確保・派遣やキャリアステージに応じた医師支援を通じて、県内全域の医療水準の向上に取り組んでいます。



《これら取組の結果》



となっており、中でも**臨床研修医・専攻医**は以下の通り**年々増加傾向**にあります。

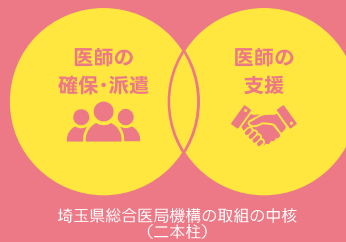


埼玉県総合医局機構の

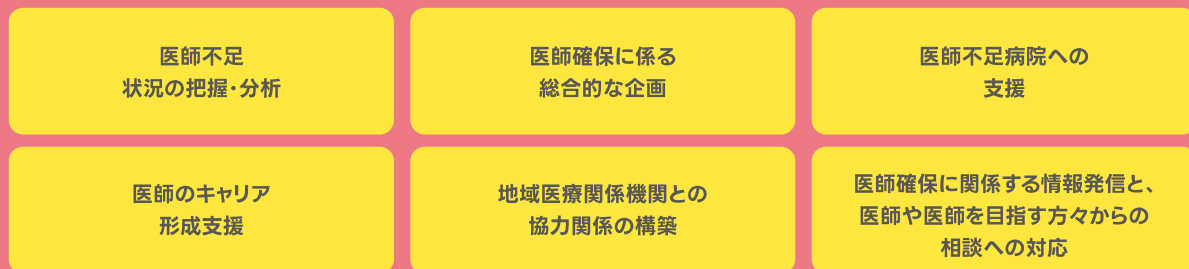
取組

【埼玉県総合医局機構とは？】

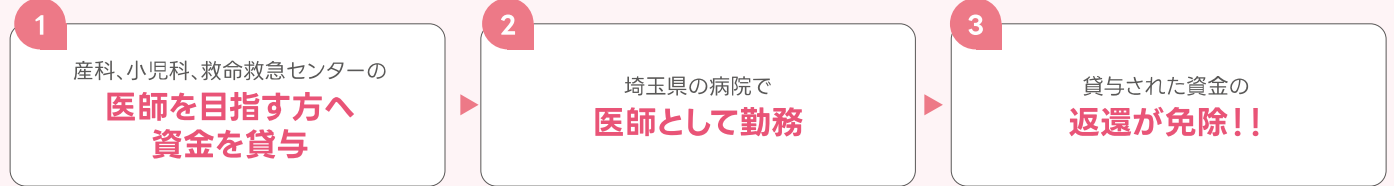
埼玉県総合医局機構は、医師の確保や地域偏在・診療科偏在の解消などに取り組むコントロールタワーとして、医師確保対策を一元的に実施しています。



主な役割



「臨床研修医・専攻医向け研修資金」貸与事業 ～産科、小児科、救命救急センターの医師を目指す研修医の皆さんを支援！～



	臨床研修医向け	専攻医向け
対 象 者	埼玉県内の臨床研修病院の臨床研修医	埼玉県内の周産期母子医療センター又は救命救急センターにおいて、産科、小児科又は救急医療に係る専門研修を受講している専攻医
貸 与 金 額	月額 10万円 以内	月額 20万円 以内
貸 与 期 間	2年 以内	3年 以内
返還免除条件	埼玉県内の病院の産科、小児科又は救命救急センターで貸与期間の1.5倍勤務すること	

※選考あり

地域医療教育センター ～県内の医師のスキルアップをサポートします！～

地域医療教育センターは、県内医療機関に勤務されている医療従事者の方向けの教育・研修施設です。各種シミュレーターを用い、実際の病室を模した仮想病室や診察室で、実際の診療さながらの研修を行うことができます。また、センターでは県内医療従事者のスキルアップを目的として、各種研修会も開催しています。

＜センターが開催する県内医療従事者向け研修会＞

医療手技 ハンズオンセミナー

超音波検査、CV穿刺、気管挿管など様々な手技のハンズオンセミナーを定期的に開催しています。



日本救急医学会／ICLS 日本内科学会／JMECC

各学会認定ディレクターによるコースを定期的に開催しています。また、受講者だけでなく、指導者側（アシスタント）も募集しますので、インストラクター資格を目指す方にもおすすめです。



産科・小児科・救急科の 魅力を学ぶ研修

特に医師が不足している産科・小児科・救急科について、各分野の第一線で活躍している医師を講師に招き、各科の魅力を伝えていただきます。また、シミュレーターを利用して各科の患者対応の模擬体験を行います。



その他のセンター主催研修

1次救命処置研修(BLS)	小児2次救命処置研修(PALS)
医療安全研修(チームSTEPPS)	ICLSワークショップ
JMECC指導者講習会	脳卒中医を育てるセミナー



センター企画教育研修の開催予定



「中高生の医療体験」「医学生の臨床研修病院見学バスツアー」事業

～埼玉県内での病院勤務に関心のある学生はどなたでも参加できます！～

埼玉県では医師を志すきっかけとなるよう、中高生に向けた医療体験を実施しております。また、医学生の皆さんに県内病院の魅力をより深く実感していただくための病院見学会を実施しています。病院見学会では、研修医との座談会を実施し、県の医療現場の現状や県内で勤務することの魅力について意見交換をしております。

※いずれも定員あり



埼玉県では、県内の医療関係機関で専門研修を受講していただくことを具体的にイメージできるよう特設WEBサイトを令和5年12月末に開設しました。サイトでは、研修プログラムごとの詳細な情報や、研修施設では勤務されている専攻医へのインタビュー記事、専門研修基幹施設の動画など、豊富な情報を掲載しています。また、順次コンテンツも追加していきます。是非ご活用ください。



特設WEBサイト



研修医の皆さんを支援します！

埼玉県総合医局機構では、埼玉県で臨床研修を受ける医師の皆さんを支援する取組を行っています。県内の専門研修病院からの説明会や、フリートークサロンを開催し、研修病院とのマッチングを促しました。また、各分野の第一線で活躍する医師によるセンター主催の研修会の開催をはじめ、専門医へのキャリアアップの支援などの取組を通じ、研修医の皆さんをバックアップします。



詳しくはコチラ

お問い合わせ先 埼玉県総合医局機構(埼玉県医療人材課内)
TEL:048-601-4600 E-mail:a3560-03@pref.saitama.lg.jp



女性医師の支援

～埼玉県の女性医師を応援！～

埼玉県では、女性医師等が産休や育休から復職する際の相談等に対応しています。また、短時間勤務等のために代替医師の雇用等を行った病院に経費を助成しています。

相談窓口 埼玉県医師会／埼玉県さいたま市浦和区仲町3-5-1 県民健康センター 5F

TEL:048-815-7115 FAX:048-815-7175 E-mail:info@saitama-joi.jp 受付時間／平日9:00～17:00

令和8年度開始専門研修プログラム 県内基幹施設の指定状況

各診療科の基幹施設の指定状況は表のとおりとなっています。

二次医療圏	基幹施設名	臨床研修病院	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ	総合診療科	合計
南部	埼玉県済生会川口総合病院	●	○	○				○							○							4
	埼玉協同病院	●	○																	○		2
	川口市立医療センター	●	○	○				○							○			○				5
	戸田中央総合病院	●	○					○							○	○						4
	さいわい診療所																			○		1
南西部	TMGあさか医療センター	●													○					○		2
	国立病院機構 埼玉病院	●	○	○						○					○			○	○	○		7
	イムス富士見総合病院			○																		1
	新座志木中央総合病院	●	○					○														2
東部	春日部市立医療センター	●	○																			1
	順天堂大学附属順天堂越谷病院	●				○																1
	南埼玉病院					○																1
	獨協医科大学埼玉医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	18
	みさと健和病院	●	○																	○		2
	草加市立病院	●	○																			1
	春日部中央総合病院	●	○																			1
	秀和総合病院	●	○																			1
さいたま	北辰病院					○																1
	自治医科大学附属さいたま医療センター	●	○	○	○		○		○	○	○	○		○	○	○		○	○		○	14
	さいたま市立病院	●	○	○			○								○			○				5
	彩の国東大宮メディカルセンター	●	○																			1
	さいたま赤十字病院	●	○		○		○		○						○			○				6
	浦和神経サナトリウム					○																1
	医療法人社団輔仁会 大宮厚生病院					○																1
	さいたま市民医療センター	●	○	○																		2
川越比企	埼玉県立小児医療センター			○																		1
	埼玉メディカルセンター	●	○					○											○			3
	上尾中央総合病院	●	○				○	○			○	○			○						○	7
	北里大学メディカルセンター	●	○					○				○										3
県央	埼玉県立精神医療センター					○																1
	埼玉県済生会鴻巣病院					○																1
西部	埼玉医科大学総合医療センター	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○		17
	関越病院	●																		○		1
	埼玉医科大学病院	●	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	16
利根	社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院	●	○				○											○			○	4
	埼玉医科大学国際医療センター	●	○				○					○	○	○	○			○				7
北部	久喜すずのき病院					○																1
	羽生総合病院	●					○														○	2
	新久喜総合病院	●	○				○											○				3
	済生会加須病院	●	○				○	○										○				4
秩父	深谷赤十字病院	●	○				○											○			○	4
	医療生協さいたま生活協同組合 熊谷生協病院																				○	1
秩父	秩父市立病院																				○	1
合計			27	11	5	11	12	11	5	5	5	6	3	3	13	6	3	13	4	4	15	162

SPECIAL INTERVIEW

さいたま赤十字病院
研修医1年目
長嶺 翠栄 先生
PROFILE
出身地：埼玉県
出身大学：自治医科大学（2025年卒）

県内の臨床研修医に聞きました

幅広い能力をバランスよく獲得、多様なニーズにも応える医師に



埼玉県は人口が多く、どの研修病院であっても十分な症例数を経験できることが強み。当院でいうと、病床数638床の大規模病院ですが、研修医数は一学年定員15名であり、病院規模に対して研修医が多すぎないため、一人ひとりが経験できる症例数は多く、かつ、主要な診療科が一通り揃っているため、多彩な症例を経験できます。当直では、ER当直と称した2次救急の初療を研修医が担当します。2年目の先生と上級医との3人体制で、研修医もしっかりと診療に参加することができます。

超高齢化社会となり、医師は自分の専門とする特定領域だけではなく、複数疾患を抱えた高齢患者さんに対応するため総合的な診療能力も求められています。豊富で多彩な症例をバランスよく経験できる当院でなら、そうした医師になるための基盤をしっかり築くことができると感じています。たとえば、能力を六角形で表すチャートがあるとすれば、特定箇所だけが尖っているのではなく、全ての能力が秀でているような、丸に近い能力チャートをめざすことができる研修環境です。実際、当院には、総合力を有し、かつ、臨床スキルだけではなくコミュニケーション能力にも長けているなど、人間力にも優れ、全人的医療を実践できる先生が多くいらっしゃいます。

私は自治医科大学出身であるため、埼玉県の地域医療に貢献できる医師になることが当面の目標ですが、そのためには特定の診療科だけではなく、幅広い疾患にも対応することができ、かつ、患者さんに寄り添う共感力や信頼関係を築くためのコミュニケーション能力も必要となります。当院での研修なら、そうした医師になるための強い基盤をしっかりと養うことができます。



豊富な症例数、安心の指導・サポート体制、 利便性の高い住環境も埼玉県の魅力

豊富で多彩な症例。研修医も一戦力として活躍できる埼玉県

さいたま赤十字病院は、「さいたま新都心駅」から徒歩4分という立地環境の良さや、2017年に新築移転した綺麗な施設環境、さらに、診療科が一通り揃っていることや、高度救命救急センターが併設されており、救急対応をしっかりと学べることが特徴。選択研修期間が40週ある研修プログラムも大きな魅力です。埼玉県は人口10万人あたりの医師数が全国下位ですが、逆に一人当たりが経験できる症例数は多く、確かな臨床力の獲得に優れた環境です。いろんな診療科にて豊富な症例経験ができることで、自分に本当に合った進路を見つけることができますし、幅広い診療経験は将来どの診療科に進むにしても大きな糧になるのではと思っています。

当院はタスク・シェアが推進されているため、研修医が雑用に忙殺され、「忙しいけど、この一か月で何を学んだんだろうか?」といった状況になることは一切ありません。日々の研修にしっかりと集中できる環境が整っており、勉強時間もしっかり確保できます。上の先生方もコメディカルのみ



オン・オフにメリハリがあり プライベートも大切にできる環境

私は自分や家庭が幸せであるからこそ、患者さんや周囲の人も幸せにできと思っています。心に余裕がなければ医師としての適切な判断も行動も難しくなります。その点においても、当院はオン・オフのメリハリも明確で、プライベートもしっかりと大切にできる環境です、「働きやすさ」という面でも非常に優れた病院です。

他県出身や県外大学の同期も多く、研修医

休日の過ごし方

基本的に土・日・祝日は休みですし、当直明けも朝に帰ることができ、平日は診療科によって多少異なりますが概ね定時には帰ることができます。オフはジムで体を動かしたり、趣味のゴルフをしたり、大学時代や研修医の同期たちと旅行を愉しんでいます。病院周辺は商業施設も多く、映画を観たり、買い物をしたり、友達とご飯を食べに行ったりするのもすごく便利。オフもすごく充実しています。



🔍 埼玉県のイイところ！

東京にも近く、都市部の利便性もあり、かつ、自然も身近にある落ち着いた環境にあるため、「ちょうどいい暮らし」ができる場所です。病院が位置する「さいたま新都心」は、アクセスの利便性や暮らしやすさ、子育てのしやすさから人口が増加しているエリアです。商業施設もすごく充実しており、車がなくても生活の不便さを感じることは一切ありません。一人暮らしの人でも、子育て中の方にも、安心、かつ楽しく生活できる環境です。



さいたま新都心

さいたま赤十字病院



埼玉県南地域における中核病院として、第3次救急医療を担う高度救命救急センターとしてICU・CCUなどの施設を併設し高度診療機能を有するほか、災害拠点病院として地域に密着した医療を推進している。また、健診センターなどの施設も整備し、地域住民の健康管理に努めるとともに、ほかの医療機関との連携を図った急性期医療を展開し、地域に根ざした医療を提供している。

SPECIAL INTERVIEW

自治医科大学附属さいたま医療センター
研修医2年目
(一般研修プログラム 内科系コース)

吉岡 万希 先生

PROFILE

出身地:埼玉県
出身大学:自治医科大学(2024年卒)

自治医科大学附属さいたま医療センター
研修医2年目
(一般研修プログラム 総合医学オープンコース)

中野 翔太 先生

PROFILE

出身地:福岡県
出身大学:自治医科大学(2024年卒)

県内の臨床研修医に 聞きました

進路が決まっている人にも、迷っている人にも最適な病院

吉岡先生／当院の初期研修プログラムは、【一般】・【産婦人科】・【小児科】の3課程があり、一般研修プログラムは「総合医学オープン」「内科」「救急」「外科専門医」「外科系専門診療科」の5コースから選択できることが特徴です。進路が決まっている人にすごく向いていると思います。

中野先生／しかも、どの研修プログラムを選択しても、日常診療で頻繁に遭遇する疾患に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力をしっかり身に付けることができます。「総合医学オープン」コースでは、内科系全てが必修ローテートとなっており、加えて、自分が回りたい科を5か所ほど回ることもできます。多彩な診療科を経験できるため、進路が決まっていない人にも最適だと思いますね。

吉岡先生／自分が希望する研修ローテーションも組めますし、自由選択は内視鏡、透視、放射線科(読影)も選択できるなど選択バリエーションも多く、研修医の希望にも柔軟に対応してくださいます。

中野先生／3年目は消化器外科に進もうと考えているのですが、たとえば、がん患

者さんは糖尿病や高血圧といった併存疾患を抱えている人も少なくはありません。がんの治療だけではなく、併存疾患や、起こりうるさまざまな問題にも幅広く対応できるなど、“患者さんに責任を持てる医師”を目指しています。当院での研修なら、そういった医師になるための確かな地盤を築くことができますよね。



🔍 埼玉県のイイところ！

埼玉県は都会の利便性と自然の豊かさを同時に楽しむことができ、生活するのにとてもバランスのいい場所。都会のように、人が多くて混雑していることがないため生活にストレスを感じることはありません。川越など古い町並みも残っていて、落ち着いた暮らしを実現することができます。(吉岡先生)



川越市／菓子屋横丁

埼玉県は東京に近いなど、アクセスの利便性が高いことが魅力。日々の暮らしで不満なところは一切ありません。新しい生活を始める場所としても最適だと思います。(中野先生)



秋文夜祭

埼玉県なら、主体的に安心して研修に臨むことができる

中野先生／救急研修では研修医にも裁量権が与えられており、患者さんにファーストタッチをして、問診、身体診察を行い、必要な検査や初期対応を自分で考えながら行うことができます。

吉岡先生／研修医が主体的に診療に関わることができるので、経験した疾患の知識を確実に自分のものにできたり、上級医の先生から手技を教わったり技を盗んだりできると思います。

中野先生／二次救急の患者さんに関しては、ほぼ研修医が初期対応から検査まで全て終えてから、上の先生にアセスメントをしています。

吉岡先生／上の先生方のフォローもしっかりあるので安心して救急や当直に臨むことができますよね。

中野先生／三次救急に関しては必要に応じて救急科の先生にサ

ポートしていただきながら診療していますし、当直は救急科の先生が1名と、専攻医の先生が2名、そして研修医2年目2名、1年目2名という体制を敷いており、3次救急が立て込んだ際は病棟にいる救急科の先生もサポートしてくださいます。安心の当直体制ですし、年齢が近い先生が一緒なので相談や質問もしやすく、また、2年目の研修医が1年目の先生に教える機会も多々あり、教えることでより大きく成長できる場となっています。

吉岡先生／上の先生方は優しく、とても教育熱心で、分からないことがあったら直ぐに聞くこともできます。質問することに躊躇してしまような雰囲気は一切ありません。なにかと不安の多い研修医にとってすごく嬉しい環境ですよな。

“チャレンジできる風土”や“自由闊達さ”も埼玉県の特徴

中野先生／これまでドクターカーを経験したことがなかったので、ドクターカーの担当の先生に乗りた

いと伝えと、「じゃあ、一緒に乗ろう!」と乗車機会を与えてくださるなど、当院には研修医の希望や意欲に応えてくれる環境があります。主体的に動けば動くほどたくさんの学びを得られますし、いろんなことにチャレンジできる機会も多いですよな。

吉岡先生／人間的にも尊敬できるロールモデルとなる先輩医師がたくさんいるという環境も当院の魅力だと思います。消化器内科を回った際、手技が早くて正確な先生をみて感銘を受けたのですが、やはり陰でものすごく努力をされている。そ

ういう姿がすごくかっこいいと思いましたし、自分もそんな先生になりたいと思いました。

中野先生／それと、当院は大学病院としての充実した教育・研修体制やアカデミックな医療環境に加え、市中病院の特徴であるコモンディーズを数多く経験することもできるなど、大学病院と市中病院の“良いとこ取り”の研修ができることも大きな魅力ですよな。

吉岡先生／大学病院か市中病院かで迷っている人にも、将来の診療科が決まっている人も迷っている人にも、誰にとっても最適な研修環境にある病院です。自治医科大学の附属病院ですので、同期は全国さまざまな大学から集まっており、派閥は一切ありませんし、みな和気あいあいとしており、自由闊達な雰囲気も魅力。こうした雰囲気の良さは埼玉県の全ての研修病院にも言えることだと思います。埼玉県なら安心して医師人生をスタートすることができるはず。ぜひ見学に来ていただき、雰囲気の良さを実際に肌で感じてほしいですね。みなさんと、たくさんお話ができることを楽しみに待っています。

休日の過ごし方

オフの日は家事をしたり、友達と遊んだりしています。「医師の働き方改革」もスタートし、ほぼ定時に仕事を終えることができますし、オン・オフがとても明確で、オフの日は仕事と切り分けてリラックスして過ごせるのが嬉しいですね。(吉岡先生)



趣味の筋トレをしたり、友達と飲みに行ったりと、オフは心身共にしっかりとリフレッシュすることを心掛けています。オフも充実しているため、健康体で仕事や研修に取り組むことができますなど、いい循環ができています。(中野先生)



自治医科大学附属さいたま医療センター



「患者にとって最善の医療をめざす総合医療」と「高度先進医療をめざす専門医療」の一体化とその実践、地域における医療への貢献とへき地などの地域医療に従事する医師に対する生涯教育の確立を目的に設立された。循環器病を主体とする高度医療に対応できるよう、医師をはじめとする医療スタッフは優秀な人材を確保し、最新の施設、設備、医療機器を取り入れている。